# 経営比較分析表(平成28年度決算)

### 神奈川県川崎市 川崎病院

| I I Man . I Man . I |          |         |           |              |
|---------------------|----------|---------|-----------|--------------|
| 法適用区分               | 業種名・事業名  | 病院区分    | 類似区分      | 管理者の情報       |
| 条例全部                | 病院事業     | 一般病院    | 500床以上    | 自治体職員 民間企業出身 |
| 経営形態                | 診療科数     | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2   |
| 直営                  | 44       | 対象      | 透 【未訓 ガ   | 救 臨 感 災 地 輪  |
| 人口 (人)              | 建物面積(mi) | 不採算地区病院 | 看護配置      |              |
| 1, 474, 167         | 49. 890  | 非該当     | 7:1       |              |

| 許可病床 (一般) | 許可病床(療養)  | 許可病床(結核)     |  |
|-----------|-----------|--------------|--|
| 663       | İ         | Ī            |  |
| 許可病床(精神)  | 許可病床(感染症) | 許可病床(合計)     |  |
| 38        | 12        | 713          |  |
| 稼働病床 (一般) | 稼働病床(療養)  | 稼働病床 (一般+療養) |  |
| 602       | ı         | 602          |  |

グラフ凡例

■ 当該病院値(当該値)

一 類似病院平均値(平均値)

**地域において担っている役割** 5度・特殊・急性期医療、救急医療を中

小児から成人・高齢者・妊産婦等の医療を提供す るとともに、精神科救急医療の基幹病院としての

また、市内唯一の感染症病床における二類感染

症患者の受入や、災害拠点病院、地域医療支援病

院、神奈川県がん診療連携指定病院としての役割

を担うほか、臨床研修指定病院として医師の育成

を行うなど、地域医療水準の向上に寄与してい

①④経常収支比率は100%を確保できているが、 平成28年度は平均在院日数が大幅に短縮したー

方、新規入院患者数は微増に留まったため、病床

利用率が下がり、医業収益が大きく減少した。②

医業収支比率は、自治体病院としての不採算医療への対応のため、90%強で推移している。③累積 欠損金比率は、会計基準の見直しによる退職給付

引当金等の一括計上のため、平成26年度から大幅 に増加。④病床利用率は類似病院を大きく下回っ でいるが、66床の未稼働病床があるため、実態よ りも低くなる部分がある。⑤6解介・逆紹介など

の地域医療連携の推進や手術件数の増加などによ

り、入院・外来とも診療単価は継続的に向上して

いる。⑦職員給与費対医業収益比率は、法定福利

費、手当等の増加や医業収益の減少に伴い平成28

年度は大幅に増加した。⑧高額薬剤の増加等によ

1)既存建物の建設から18年が経過しており、建

形固定資産減価償却率が高くなっている。

物・設備の経年劣化が進行していることから、有

2機械備品減価償却率は、医療機器の計画的な更

③1床当たり有形固定資産は、類似病院と比べて

高い値になっているが、これは都市部における建

築単価が高いことや、特殊な工法で病院を建設し たことで建築費が高くなっていることなどによる

り、材料費対医業収益比率は増加傾向にある。

2. 老朽化の状況について

新により、近年は減少している。

ものと考えられる。

経営の健全性・効率性について

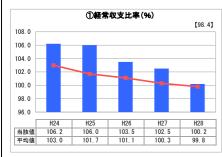
【】 平成28年度全国平均

機能も担っている。

Ⅱ 分析欄

- ※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療
- ※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

## 1. 経営の健全性・効率性









「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」









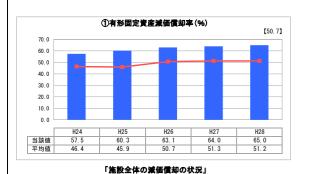
「収益の効率性①」

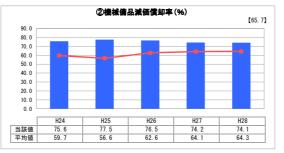
「収益の効率性②」

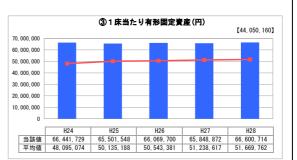
「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

## 2. 老朽化の状況







「機械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

#### 全体総括

〇本市では、平成27年度に新公立病院改革プラン (「川崎市立病院中期経営計画2016-2020」)を 策定し、経営改善に取り組んでいる。

○収益面では、引き続き医療の質を高めて診療単価を向上させるとともに、地域医療連携の推進により新規入院患者数を確保している必要がある。○費用面では、材料費や委託費などの経費も、減値値が大きいことから、入札手法の見直しや、直営 2 病院での共同購入など経費削減を推めている。

○施設の狭隘化や、今後の人口増と高齢化に伴う 医療需要の増加に対応していくため、一部増築・ 改修の計画(医療機能再編整備)を進めている。 ○設備の老朽化に対しては、民間のノウハウを活 用し、地下に集中する基幹設備をエネルギーを して効率的に更新・整備する計画を進めている。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。